

アジアからすべての米軍基地撤去を！
2017年岩国基地大強化阻止・辺野古新基地建設阻止
国際連帯集会

基調

(1)

日米両政府は、2017年には岩国基地の強化を完成させようとしています。厚木からの空母艦載機59機の移駐、これに伴って、基地内への790戸の米軍住宅建設、愛宕山への270戸の米軍住宅建設、および運動場など関連施設の建設も急ピッチで進められています。すでに、普天間からの空中給油機部隊は、昨年に岩国に移駐されました。それだけではありません。オスプレイの訓練拠点としても、岩国基地はすでにその役割を負わせられています。さらに、米国外では初めてとなる最新鋭戦闘攻撃機F35の2017年岩国配備も発表されています。これらによって、岩国米軍基地は、戦闘攻撃機を中心に130機前後が常時ひしめく極東最大の海兵隊の航空基地となってしまいます。そして、岩国市は、1万人に及ぶ米兵および米軍関係者が住む街となっていきます。

(2)

しかも、岩国米軍基地は海上自衛隊の航空基地との共同基地です。安倍政権は、戦争法を強行に成立させ、自衛隊を米軍と共に世界中に軍事出動させていこうとしています。また、中国との軍事的緊張も強まり、朝鮮民主主義人民共和国への戦争策動も強まっています。このために、日米両政府は、韓国、フィリピン、オーストラリアなどアジア太平洋地域における合同軍事演習を含む多国間の軍事協力関係を一段と強めています。安倍政権による戦争法を廃止しなければ、こうした危険な動きに歯止めがかかりません。そして、こうしたなかで、岩国基地は、極東最大の海兵隊の航空基地、海上自衛隊の航空基地として、日米両軍の巨大な出撃拠点へと変貌していこうとしているのです。特に、朝鮮有事に対応した日米両軍の最前線基地となることは明白です。

(3)

こうした岩国基地強化は、辺野古新基地建設と一体です。沖縄と「本土」各地を貫いて、日米軍事同盟の強化と戦争法の成立による基地再編強化が進められています。沖縄は、辺野古新基地建設を阻止するために、沖縄一丸となり、日米両政府と真っ向から対決してたたかっています。神奈川でも米第七艦隊の母港として10月に原子力空母の交代配備が強行されましたが、これに抗議してたたかっています。横田基地には、米陸軍のオスプレイ部隊が2017年から配備されることに対して反対闘争が行われています。京丹後米軍Xバンドレーダー基地では、騒音、米軍属による交通事故など、住民への被害が続いており、米軍属のための新たな住宅建設に反対するたたかいも続いています。

(4)

岩国市民も、2006年には、厚木からの空母艦載機移駐を、圧倒的多数の市民の意志で拒否しました。また、艦載機移駐差し止めを求めた岩国爆音訴訟をはじめ、いくつもの裁判を起こし、基地強化に反対するたたかいを継続しています。岩国爆音訴訟で、さる10月15日、山口地裁は、

過去の損害賠償を一部認めただけ（しかも沖合移設以降は減額）で、艦載機移駐で増大する将来の損害賠償も艦載機移駐差し止めも、いずれも認めない判決を下しました。不当な判決です。たたかいは続きます。全国から支援を。また、米軍住宅建設が進む愛宕山では、毎月1日、11日、21日と愛宕山見守りの集いを開催し続けています。そして、年が明けると岩国市長選挙です。市長選では、基地強化に反対する岩国市民のたたかいに全国から支援を集中しましょう。辺野古新基地建設を阻止するたたかいとともに、2017年、岩国基地大強化に反対するうねりを全国で作り出していきましょう。

(5)

今日、ここ岩国には、沖縄、京丹後、神奈川、横田から仲間が参加しています。沖縄の辺野古新基地建設を阻止するたたかいは、まさに反米軍基地闘争の天王山に位置します。辺野古新基地建設を阻止するためにもたたかきましょう。そして、沖縄、「本土」各地の反米軍基地闘争を、ともに連帯しあいながらたたかいていきましょう。なかでも、岩国は、極東最大の海兵隊基地にされようとしているにもかかわらず、あまりにもその危険性が全国に知られていません。沖縄、京丹後、神奈川、横田、各地の反米軍基地闘争と連帯し、2017年、岩国基地大強化に反対するたたかいを、全国で共通の問題として取り組んでいきましょう。岩国基地大強化阻止、辺野古新基地建設阻止、沖縄と「本土」各地から米軍と米軍基地を一掃する共同闘争を前進させていこう。

(6)

さらに、今日、ここ岩国に、韓国、フィリピン、スコットランドから仲間が参加しています。韓国で、再び戦争と侵略の道に向かう日本の集団的自衛権行使と安保法制に反対する活動を行い、韓米日のミサイル防衛・三角軍事同盟作りを阻止する活動や、朝鮮半島の恒久平和のための平和協定締結と朝鮮半島非核化の活動を展開している「平和と統一を開く人々」と連帯してたたかきましょう。フィリピンの人々は、かつて、クラーク、スービックという二つの東南アジア最大の米軍基地を、民衆が立ち上がり撤去させた偉大な経験をもっています。しかし、いま、再度の米軍再駐留と日本との軍事協力が強まっています。こうしたなかで、一貫してたたかいを続けているBAYANをはじめフィリピンの仲間と連帯してたたかきましょう。スコットランドには、イギリスにおいて唯一の核基地が置かれています。スコットランド独立をめぐる先の住民投票でもこの問題が重要な問題の一つでした。スコットランドの仲間は、反核反基地闘争を一貫してたたかっています。

沖縄と「本土」各地のみならず、アジア太平洋地域から米軍と米軍基地を一掃する国際的な共同闘争を強めていきましょう。アジアからすべての米軍基地の総撤収を！さらには、全世界から米軍の撤収を！全世界の仲間と連帯していこう。

そして、米軍とともに世界中に軍事出動を始めていこうとする安倍政権を倒そう。戦争法を廃止させよう。2017年岩国基地強化阻止・岩国米軍基地撤去、辺野古新基地建設阻止、京丹後米軍Xバンドレーダー基地撤去、神奈川における米軍基地撤去、横田基地撤去・2017年オスプレイ配備阻止、日米軍事同盟の破棄を。ともに、力を合わせてたたかきましょう。